



高速しが

平成27年
10月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

秋の行楽シーズンです!!



楽しい家族旅行も、ちょっとした油断が悲惨な事故を招きます。
次のような行為は『重大事故』に直結しますから絶対にやめましょう。

車間距離不保持

十分な車間距離をとっていないと、前車が危険回避のため急ブレーキをかけた場合など、とっさの対応ができず事故に至る危険が増します。

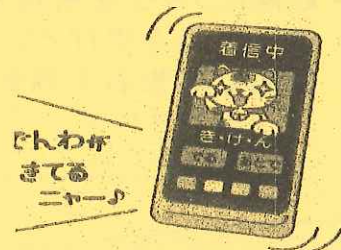


速度超過

速度が早くなればなるほど停止するまでの距離が延びるほか、雨天時などスリップの原因にもなります。

全席シートベルト非着用

高速道路は車の速度が早く事故の衝撃で車外放出される危険性が高いことから、前席はもちろん、後部座席の乗員も必ずシートベルトを締め、自分の身を守ることが大切です。

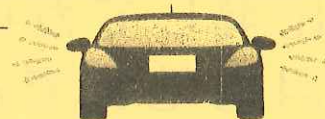


携帯電話保持

携帯電話を保持しての通話等は、ハンドル操作が不安定になり事故の危険性が増します。また、高速道路では、路肩に止まって通話等しても駐停車違反になります。

ハザードランプ推奨

渋滞のため車両の速度が落ちると、追突事故が発生しやすい状況になります。前方で渋滞を発見し、低速走行や停止する場合は、事前にハザードランプを点灯して、後続車に合図しましょう。



危険ドラッグは違法です!!

ドライバーの皆様へ

薬物（危険ドラッグ）を使用して運転すると厳罰に処せられます。

危険ドラッグを使用して車を運転すると、薬物の作用で車を暴走させ、歩行者を次々とはねたり、蛇行運転をしながら対向車両に衝突したりという交通事故を引き起こすことが過去の事例からも実証されています。

たった一回の使用があなたの人生を台無しにし、何の関係もない周りの人や社会に甚大な悪影響を及ぼすことをしっかりと認識し、絶対に危険ドラッグは使用しないでください。

*危険ドラッグを所持するだけで「危険性帯有者」として運転免許停止処分を受けることがあります。また、危険ドラッグの吸引を勧めた同乗者も同等の処分を受けることがあります。

リフレッシュして安全運転を!!

ドライバー自身が死亡する危険性が高い「居眠り運転」は、長時間の運転や交通量が少ない高速道路での単調な運転などにより陥りやすくなります。

- ・出発してから30分前後の地点
 - ・目的地まであと30分足らずの地点
- が要注意です。

気分転換し、安全運転を心がけましょう。